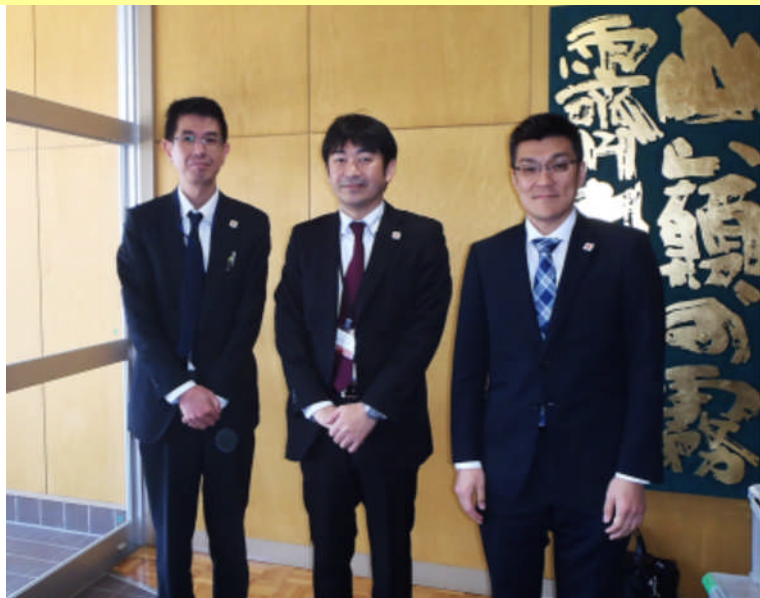


縄文遺跡群の世界文化遺産登録をめざして



世界文化遺産登録推進室の皆さん

—— 縄文遺跡群の世界文化遺産登録に向けての進み具合は？ ——
「北海道・北東北の縄文文化遺跡群」が、平成30年に世界文化遺産推薦候補に選定されました。たくさんの方の皆様に支えられたおかげです。お礼申し上げます。
縄文遺跡群は世界共通の宝として過去から現在、そして未来へ引き継ぐべきものです。2021年の登録実現に向けてがんばっていきます。絶対に登録するまであきらめません。

子ども達とつながる人たち #3

絶対、登録する

体感すること

—— 最後にPRをお願いします。 ——
弘前には「大森勝山遺跡」があります。本当は実際に遺跡を見てもらうのが一番です。遺跡に行けば、山などは昔と変わらないから、古代の人の思いを感じることが出来ます。例えば、道具づくりは苦労したであろうけど、出来上がった時は嬉しかっただろうなどと、少しでも思いを縄文にめぐらせてほしいです。子ども達の縄文にかける思いが登録の力添えになります。



大森勝山遺跡

縄文への興味を！

—— 今回の「縄文体感世界遺産講座」を通して子ども達に学んでほしいことは？ ——
縄文を学ぶことが楽しいと感じてほしい、そしてそれを家に持ち帰ってほしいと思います。みんなの応援が登録の可能性を広げます。今回の講座では、縄文の雰囲気に触れてもらいたくて、縄文時代のくらしや遺跡について説明しました。また土器や石器、土偶に触れてもらい、縄文時代の人々の生活を体感してもらいました。縄文時代の知恵や工夫を感じ、縄文への興味を深めてほしいです。

6年「縄文“体感”世界遺産講座」

4月16日（火）に青森県世界文化遺産登録推進室が開催してくれました。「北海道・北東北の縄文遺跡群」の価値や魅力を次の世代に引き継ぐため、県内の縄文遺跡の価値や魅力、世界遺産登録をめざす取組等について解説してくれました。とても楽しい学習でした。



三中学区「目指す子ども像(15歳の姿)」

地域を思い、未来に向かって主体的に学び、心身ともにたくましい子ども

○思いやりの心を持ち、共に生きる ○すすんで学び、あきらめない ○心と体をきたえ、笑顔を広げる

市民参加型まちづくり1%システム 事業成果発表会

5月19日(土)、ヒロロにおいて、「たいせいクマノミ隊」の取組成果を、会長の棟方成人さんが市民の皆さんに発表しました。

目的 子どもの見守り活動の充実

地域の子どもの安全は地域で守ろう！

旧第一大成小学校と旧第二大成小学校とが統合したことにより、学区が広くなり、遠くから通う子どもが増えました。

そこで、平成18年に子どもたちの安全を見守ろうと有志が立ち上げたのが「たいせいクマノミ隊」です。



内容 防犯ベストの作成

活動を地域や子どもたちに認知させる！

これまでの腕章では、地域や子どもたちにも認知度が低く、活動が伝わりませんでした。

お揃いの防犯ベストを着ることで、安全確保及び防犯効果が高まることが期待できます。





成果 子どもの安全意識の高揚

子どもの安全への意識・関心が高まった！

防犯ベストを着用することにより、「たいせいクマノミ隊」への認知度が上がりました。また、子どもたちも防犯ベストを着ている人を見ると安心するとともに、車にも不審車にも気をつけようと思うようになりました。



7月 TCSカレンダー

日	月	火	水	木	金	土
	1 三中学区 あいさつ運動	2 引き渡し訓練 学校運営協議会委員研修会	3	4	5	6
7 	8 読み聞かせ 「しあわせの種」	9 富田稲荷神社宵宮 図書館ボランティア	10 三中学区学校 運営協議会合同会議	11	12 フリー参観日 学校運営協議会	13
14	15 海の日 最勝院宵宮	16 町会子ども会	17	18	19 1学期前半 終業日	20 夏季休業
21	22 三中学区合 同陸上練習	23	24 市立図書館 はとぶえ号	25	26 	27 同窓会総会
28	29	30	31			